

「間伐」研修 報告

日 時： 2023年10月22日（日）9：00～12：00

場 所： 森林インストラクターの森

参加者： 池田、沖本、関谷、田崎、星野、毛利、横山、芳野

報 告： 関谷

雲一つない秋晴れの日、カツラの甘い香り漂う森林インストラクターの森で「間伐」研修が行われました。

チェーンソー、ロープ、ノコギリなどのたくさんの道具類とともに、今年はセンサーカメラに熊が写っていたこともあり熊よけスプレー、ピストル（音だけ）なども準備されました。

まずはデッキでの座学。横山さんが講師となって、林野庁の資料を基に、そもそも間伐とは何か？間伐の効果、間伐の方法・種類など基本を学び、次に、林業・木材製造業労働災害防止協会発行の「安全な伐木造作作業」の冊子をテキストに、服装や保護具、伐倒前の準備確認、伐倒作業の基本、伐倒造作作業の基本、伐倒作業中の災害事例などを学びました。横山さんやほかの皆さんがお持ちの道具や豊富な経験も交えてのお話で、とても勉強になりました。ノコギリの歯の構造の違い、『ヨキ』という斧に似た道具も初めて見ました。横山さんが丁寧にいろいろ説明してくださいました。

しっかり座学で学んだことを踏まえ、いよいよ実際の間伐作業です。間伐する木（今回はヒノキ）を選んだあと、退避時に障害となるものの除去を行い、次に伐倒方向を決めました。伐倒方向にロープを張って、受け口切り。水平に切っているつもりが、斜面の傾斜につられて斜めになってしまいました。



ロープの設置



受け口切り

次に追い口を切ると、見事に他の木にかかることなくバタンと地面に倒れました。（本当はかかり木にしたかったようですが、うまい具合に他の木にかかることなく倒れました）危険を伴う作業なので緊張しました。

切ったところからは、ヒノキのいい香りが周りに漂いました。

伐倒後は下で栽培しているシイタケやナメコを収穫。シイタケは20cm近くの巨大なものになっていました。

午前中の研修を終え、デッキでお弁当。池田さんが沸かしてくださったお湯で、コーヒーをいただき、参加者みなさんといろいろおはなしできて楽しいひと時を過ごすことができました。

そうそう、現地ではセキヤノアキチョウジの花が真っ盛りでしたよ。

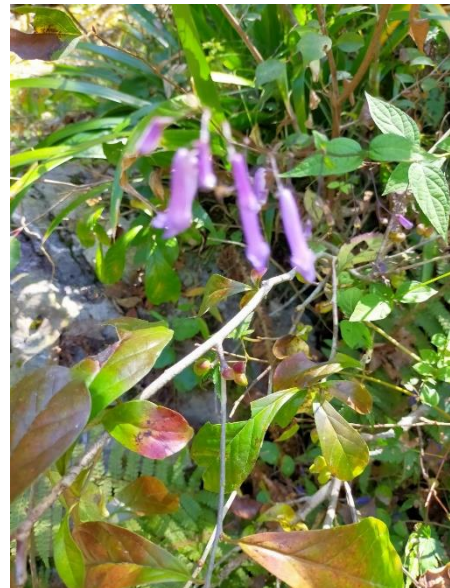
今回の研修では、横山さん、沖本さんをはじめ、森づくりメンバーの皆さん、ありがとうございました。気持ちのいい秋晴れの1日、有意義な研修となりました。



追い口切り



巨大シイタケとナメコ



超ピンボケの
セキヤノアキチョウジ